

リニューアル

「市報こがねい」新しいスタート

市政をより身近に感じてもらえるように、各所読みやすさを考え工夫を凝らしました。市の施策や各種事業などの情報を分かりやすくお知らせしていきます。



毎月1日と15日に発行！
全戸配布のほか、市立施設や
JR武蔵小金井駅、
東小金井駅にも
置いていますよ。



No.1560

令和6年8月1日号



POINT 2

文字は、「横書き」が基調

視線の移動が楽な点と、数字やアルファベット、表などがより見やすくなるよう文字は「横書き」を基調としました。かつ編集上読みやすいようにと綴じ方を「左綴じ」に変更しました。

POINT 4

UD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用

市報が読み物として多くの方に親しまれるよう、本文はUDフォントを使用しています。見出しや注目度の高い記事についてはゴシック、情報記事の本文は明朝にするなど、メリハリをつけて見やすい、読みやすい工夫をしています。

もっと読みやすく
(情報カテゴリーと二次元コード)

知りたい情報を素早く探せるように、情報カテゴリーごとにカラーを決めました。

またお手持ちのスマートフォンから二次元コードを読み込んで情報へアクセスしやすくなりました。



1面は、表紙として。顔として

特集号1面に掲載する情報は必要最低限に抑え、これまでタイトル周辺に掲載していた「納期限」、「世帯と人口」などは1面下に配置し、視覚的にすっきりとさせました。

POINT 1

タイトルデザインを一新

23年間掲載していたデザインを時代に合わせて一新しました。曲線の上に浮かぶタイトルにとまっているのは、市の鳥「カワセミ」です。今号は野川の水面をイメージした青系の曲線ですが、季節により色を変え、移ろいゆく小金井市の豊かな自然を表現していく予定です。ストーリー性が感じられるデザインですので、もしかしたらカワセミが留守にする号があるかもしれません。ぜひお楽しみに。

POINT 3

見て読んで楽しい、
毎号フルカラー

写真やイラスト、図表が映える、全ページフルカラー印刷です。読みたくなる市報をめざし、従来よりも分かりやすく、楽しく、小金井市の魅力をお伝えします。

POINT 5

毎月「15日号」は特集号

月に2回発行している「1日号」「15日号」のうち、原則、15日号が特集号になります。特集号では紙面を3ページ使って特集記事を掲載し、魅力ある情報をお届けします。

リニューアルにあたって

市政は市役所のみではなく、市民の皆さんと共に担うものと考えます。そのためには、市の情報や取り組みをできるだけ分かりやすくお伝えすることが重要であり、一人でも多くの方に市政を「自分ごと化」して捉えていただけることを期待し、市報をリニューアルしました。今後も広報の充実に努めていきます。

小金井市長 白井 亨

広報担当から

8月1日号より、市報をリニューアルしました。

今号では、みなさんに、市報や小金井の歴史を感じていただきたく、創刊号やそれぞれの時代の市報を掲載しました。

また、リニューアルに伴い、タイトルを一新し、記事も横書き基調にするなど、読みやすさ・分かりやすさをめざして工夫しまし



た。今後は、特集記事をこれまで以上に充実させるなど、みなさんが読みたくなる市報を心掛けて作成します。ぜひお楽しみに！